

都市づくりフォーラム 第1回

都市づくりトピックス

近年、都市づくりの分野で、「パートナーシップ」あるいは「協働」という言葉が頻繁に使われるようになってきました。そこで、パートナーシップによる都市づくりの方法のひとつである「グラウンドワーク」をご紹介します。

グラウンドワーク

グラウンドワークとは

いまから約20年前にイギリスで始まった生活環境を再生するための実践活動のことをいいます。住民、企業、行政のパートナーシップ（協働）により、地域の身近な生活環境（グラウンド）を整備・改善（ワーク）する運動のことです。

この運動を行うために三者が協力して専門組織（グラウンドワークトラスト）を作り、自らの地域のために活動しています。

その活動は、生活道路や公園の整備や維持管理、青少年の育成、職業訓練の実施など、多岐にわたります。

誕生の背景

当時のイギリスも財政が危機的な状況で、行政が税金で行うと思われていた道路や公園などの維持管理にまで手が回らなくなっていました。むしろ、地域の住民や企業が直接行動したほうが、早く合理的に対処できることがあるのではないかという考えが、この運動が始まったきっかけです。

今後、羽生市も単独市として都市づくりを進めていくうえで、グラウンドワークのように、皆さんと一緒に考え、パートナーシップ（協働）による都市づくりの輪が広がればよいと考えています。

羽生のいいところミーック

毎月、知られざる羽生市の魅力を紹介するこのコーナー。

今年市制施行50年を迎える我が羽生市は、歴史あるまちです。市内には昔からの路地があちこちに残っています。そんな路地裏に視点を置いて、「いいところミーック」を展開してまいります。

< 今回の羽生のいいところ >



今回の「羽生のいいところ」は中央4丁目の「通見社跡」なる石碑がある路地です。通見社（つうけんしゃ）は、埼玉県下初の政治結社のことです。明治9年、羽生の自由民権運動家有志によってつくられました。一同は国会開設期成同盟会をつくり国に陳情し、2400名の著名を集めた国会開設請願書を提出しました。通見社は埼玉県の国会開設運動の拠点として有名です。国会開設に燃える志士たちの熱気が渦巻いていた場所は、今はひっそりとした路地で、連なる板塀が、古い羽生のまちを連想させます。

「この先はどうなっているのだろう」と好奇心をくすぐる路地裏を歩いてみませんか。新しい発見があるかもしれません。皆様からの情報をお待ちしております。

市民フォーラム

広報の発行日の関係で、今回はご意見を紹介することができません。

「フォーラム」とは、公開の広場という意味で、語源は古代のローマの市の中心部にあった集会用の大広場のことです。公開討論会、座談会という意味もあります。

このコーナーは、都市づくりに関して市民の方々と広報の紙面を通じて意見交換を行う広場として設けました。毎月の紙面で、市民の方々から寄せられた意見とそれに対する市の考えを紹介します。日頃、羽生市の都市づくりについて感じること、疑問などをどしどしお寄せください。お待ちしております！

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先

都市計画課（内線 2 7 5）

FAX 5 6 1 - 6 3 8 0

email toshikei@city.hanyu.lg.jp